

# 「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所  
〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757  
電話連絡先 0282-22-7079(増田) Eメール [oochirasano9jo@yahoo.co.jp](mailto:oochirasano9jo@yahoo.co.jp)



QRコード



207号  
2024年9月27日発行

## 「戦争させない」 10.19講演のつどい

10月19日(土)  
13:30~16:00

吹上公民館(栃木市吹上町782-1)

TEL 0282-31-1792

テーマ 憲法がもつ力

講師 田中徹歩 弁護士

### 「19日行動」って

安保法制(戦争法)が2015年9月19日、国民の8割以上が慎重審議を求める声に耳をかさず、強行可決しました。

「19日行動」は、この日から「戦争法廃止・立憲主義の回復・憲法9条守れ!」と始まりました。今年10月19日で100回目になります。



※10月19日のスタンディングは、100回記念「10.19講演のつどい」です。

## 講演会 「平和に生きる社会を願って」



講師:清水奈名子先生

宇都宮大学国際学部・国際学科教授  
原発・平和問題等に取り組んでいる

11月2日(土) 13:30~16:00

ふるさとふれあい館(栃木市大平町地域福祉センター)

栃木市大平町真弓1396 TEL 0282-43-0294

## 平和憲法を大切に、伝えてゆかなければと思う!

NHKスペシャル(総合)「戦後70年“平和国家”はこうして生まれた」ビデオ視聴会を、9月11日、観て学ぼうと市民交流センターにて行いました。参加者からの主な感想です。

平和憲法が出来るまでの様子がよくわかりました。70年以上経って、戦争の悲惨さを忘れてしまっていることを反省し、自分たちの行動にしていく必要があると思った。

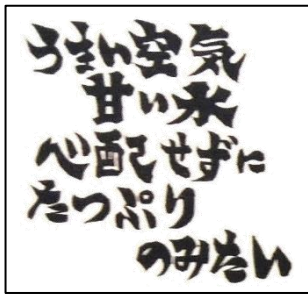
機会あるごとに、DVDを見る会を催して何度も多くの人に観てもらいたい。

「九条」の重みを感じました。天皇は自らの立場を守るために戦争直後、平和主張になったと思う。今や憲法の上に安保条約があり、改憲は天に唾する行為、国民を欺く行為だと思つた。

2024 年夏

# 「とちぎ非核平和展」会場にて

鈴木 解子（記）



鈴木賢二の版画絵巻『平和を世界に』は、「あのころは 空気も水も うまくて甘かった」で始まる。原爆投下後の広島、長崎の惨状とアメリカの水爆実験による第五福竜丸の被爆後の

草の根の原水爆禁止運動。その高まりは世界中に広まり、1954年の原水爆禁止世界大会の開催を導いた。それら一連の庶民の力を彫り込んだ長尺 12メートルに及ぶ絵巻は、「うまい空気 甘い水 心配せずに たっぷりのみたい」という文章に結ばれる。

賢二は1958年の第四回原水爆禁止世界大会で『平和を世界に』を発表、参加各国代表は作品下部に原水爆禁止の決意を込め署名をほどこした。加えて賢二は、帙入りの同作品を各国代表に贈り、その決意を共にした。

2024年8月、制作後66年を経て傷みの進んだ『平和を世界に』は友人、知人、全国各地からの支援のもと、制作当時の姿をとどめる修復と高精細複製（レプリカ）版画絵巻として蘇った。

70年前の“小さな市民の声”が世界の平和運動を動かした事実と、賢二の『平和を世界に』に込めた思いを受け止め繋げていくために、これからは新たな息吹が吹き込まれた『平和を世界に』が語り続けていくことだろう。

栃木市との共催で開催された「とちぎ非核平和展」の会場、栃木文化会館展示室は泰山木の大きな枝が中央に飾られ、和楽器の音楽と共に祈りの静謐な空気が満ちていた。丸木位里・俊夫妻の「原爆の凶・幽霊」と、ほか複製画、原爆写真パネル等に並んで、12メートルの『平和を世界に』がレプリカと共に拵げられた。そこ



には「栃木市非核平和宣言文」と栃木非核平和モニュメントの写真パネルと小さなエスキース（※）も・・・。

1987年（旧）栃木市は、「非核平和都市宣言」を発表した。1991年の夏には市民団体による朗読劇「この子たちの夏 1945 ヒロシマ・ナガサキ」が上演され、その後小規模公演、大規模公演を繰り返しながら1996年まで上演活動は続いた。その公演益金をもとに、彫刻家・鈴木 徹制作のブロンズ像「碑」を購入、栃木市に寄贈。市は1996年、非核平和都市宣言10周年を記念して総合運動公園・体育館脇に平和モニュメントとしてこれを設置した。私は、新生栃木市の非核平和事業に結びついているこの官民協働の事業が誇らしくてならない。

（新生栃木市の「非核平和都市宣言」と共に、「碑」は改めて栃木市の平和モニュメントとなり、エスキースはその記念として鈴木徹の遺族から寄贈された）

（※）「碑」の“下絵”ともいえる小作品

とちぎ非核平和展の会場で、朗読劇「泰山木の木の下で」の被爆女性・神部ハナを49年ぶりに演じた。この会場の空気感は、これまでの長い時間、いつも一緒だった大切な友人や先輩、姉たちや夫と私に父・賢二、兄・徹が「よくやってきたね」と労ってくれているか、とも思えるものだった。



スタンディング

10月9日（水）市役所前 午後4時～ 約30分間

19日（土）は、戦争させない「10.19講演のつどい」へお出かけください。（吹上公民館）